

## 第7回 奈良公園植栽計画検討委員会 議事要旨

日時 : 平成26年10月28日(火) 午前9時～11時  
場所 : 奈良県文化会館 1階 第2会議室  
出席者 : 委員長 尼崎博正  
委員 井原縁、増田昇  
事務局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室  
地元関係者 興福寺、東大寺、春日大社、奈良国立博物館  
関係部局 《奈良県》景観・自然環境課、道路管理課、奈良公園事務所、  
文化財保存課  
《奈良市》景観課、土木管理課、道路維持課、文化財課

- 議題① 今年度の事業スケジュールについて  
② 公園全体の植栽方針について  
③ クロマツ疎林ゾーンの整備内容について（五十二段周辺・猿沢池周辺）  
報告 奈良公園内の他計画の報告

### 議事要旨

- 今年度の事業スケジュールについて
  - ・了承された。
  
- 公園全体の植栽方針について
  - ・「公園全体の植栽方針」についてはおおむね了承された。
  - ・次に個々のゾーンの検討をする段階では以下の事項に留意すること。
    - ・冬の景観を含め、花木類（落葉樹）と常緑樹、針葉樹と広葉樹の組み合わせなど、全体の配植バランスを念頭におきながら、四季を通じた景観づくりが必要。
    - ・地下遺構や建物との共存について配慮が必要。
  
- クロマツ疎林ゾーンの整備内容について（五十二段周辺・猿沢池周辺）
  - ・本来の目的や検討のプロセスについて、市民の理解を得る必要がある。インターネットの活用や展示会の開催などを検討されたい。
  - ・将来像や伐採木の再利用についても情報として発信する必要がある。
  - ・定点で写真記録をとり続けることは、植栽計画の妥当性の検証にもなるため、有効である。